

楽しい情報  
満載!

**KanoGomi**  
明るく元気な鹿野をつくる情報誌

みんなで創る  
情報誌

vol.35

# かのこみ

## 謹賀新年

令和2年の初春を祝し、鹿野地区に暮らす皆様の今年一年のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。平素は各種団体で活発な活動を展開していただき、心から感謝申し上げます。

鹿野地区コミュニティ「明るく元気な鹿野をつくる会」では、周南市からの交付金をいただき集落支援員さんを雇用し、3年をかけて「鹿野地区夢プラン」を策定いたしました。そのスローガンは

### 『ぶちええね! まるごとかの~ (可能) づくり』

これからの10年、20年先までも鹿野地域が自立して人々が豊かな気持ちで暮らせるように夢プランの実践が何より大切です。そのための原動力に山口県も周南市も推奨する「地域経営会社」をコミュニティが牽引して設立していく必要を感じています。安定経営のために収益事業や受託事業も視野に入れ、雇用を創出していくことが持続可能につながります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

今年は東京オリンピックの年です。楽しみも多い年となりますが、昨今の異常気象で災害も心配されます。ご近所やお仲間とのコミュニケーションを更にしっかり保って今年一年を有意義に過ごしていこうではありませんか。鹿野地区の皆様の頑張りや連帯感に期待を致します。

明るく元気な鹿野をつくる会  
会長 長嶺 敏昭



田原付近から撮影した日の出前の風景



## 第14回 何かを決めるということ

そろそろ受験生の皆さんは進路を決める時期ですね。進路を迷っている人もいらっしゃるかもしれません。科学では、繰り返し実験することによって正しい結果を探しますが、高校入試はほとんど一回きりのチャレンジです。決定を迫られた時点でまだ情報が不足して判断に迷ったりすることもよくあります。そんな時、完璧に情報が揃い、100%の自信が持てるまで待つならどうなるでしょうか。きっとタイミングを大きく逃してしまうでしょう。どこかの時点で「えいやっ」と決めてしまう必要があります。テストでも似たことが起きます。歴史のテストで答えが北条泰時か北条時宗か迷っているときは大抵、決定打となる情報が不足しているものです。そういう時でも白紙で出さずに何とか答えを出す、これもテストの大切な役割です。

もう一つ大事なことは、返ってきたテストを見てあの時の決定はなぜ正しかったか(間違っていたか)を確認することです。これを何度も何度も(中学校であれば15回分の定期テストで)繰り返すことで、限りある情報で決定を下す訓練ができるのです。今年受験のみなさんも、まだまだ先のみなさんも、がんばってください!



文責：  
藤井塾主宰 藤井 隼介

## 地域医療コーナー

### 転ばぬ先の予防策

山口県立総合医療センター 医師 横田 啓

転んで、骨折してしまい、歩くことが難しくなることがあります。今回は転倒を防ぐために大切なポイントをお伝えします。座って、膝を10秒間まっすぐ前に伸ばす体操を左右10秒10回ずつ朝夕行うことで、太ももの筋肉を鍛えることができ、転倒予防につながります。机を手で持って、片足で立つことも効果的です。地域の体操教室に参加することもお勧めです。運動量を増やすためには、万歩計で毎日歩数を記録して、自分で目標を立てると長続きしやすいです。

夜暗くなると、転びやすくなりますので、トイレまでの廊下・階段の照明は明るくしましょう。家の中で、床に置いてある物、電気コード、じゅうたんなどにつまずいて転ぶことがあるので、注意が必要です。睡眠薬は種類によって転びやすくなる場合がありますので、夜にふらつくことがある場合はかかりつけ医師に相談すると良いでしょう。転ぶことなく、元気で暮らすために、参考にいただければ幸いです。

## 幸運は舞い降りる… かな?

12月8日(日)、渋川の宝作神社で『年末ジャンボ当選祈願祭』が渋川宝くじ当選奉賛会の主催で行われました。

宝作の宝と宝くじの宝をかけた、遊び心満載のこの祈願祭。

宝くじを買った人も、これから買う予定の人も二所山田神社の宮本宮司の祝詞にあわせて、当選を願ってお祈りを捧げました。

地元の方のご厚意でぜんざいの接待もいただき温かい雰囲気でしたが、参加者全員の当選祈願の思いを一手に引き受けられた神様のプレッシャーはかなりのものでは(笑)

さて、幸運は誰の手に??



## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。鹿野には地域を盛り上げようと活動されている団体がこんなにもあるんだ!と改めて認識された方も多いのではないのでしょうか。

他にもまだまだ地域のために活動されている団体がおられます。自薦・他薦は問いません。かのこみの紙面にて取り上げたい団体を紹介してください。

【情報提供先】  
明るく元気な鹿野をつくる会事務局  
(コアプラザかの) : 0834-68-2094  
鹿野総合支所地域政策課 : 0834-68-2331

## おわびと訂正

前回34号の記事に誤りがございました。  
①表紙のさかなつりの記事は、「錦川上流漁協のご協力を実現できた行事」という説明が抜けていました。  
②中面、戸別無線受信器廃止の記事。廃止時期は、令和3年ではなく令和4年11月末が正しい時期です。  
おわびして、訂正いたします。

# 地域の活動団体紹介

次号から各団体の詳細を順次掲載する予定です。  
また、紹介したい活動団体がありましたら自薦他薦を問わず編集部までご連絡ください。

## 「渋川をよくする会」

会長 安永 芳江

渋川は鹿野地域の中でも、過疎化は深刻です。地域みんなが生活を楽しめ、助け合える地域をめざして7つの活動の柱を作って活動しています。



## 長野山天空カフェ実現プロジェクト

代表 安永 芳江

渋川の将来に危機感を覚えた関係者が全員参加で、また最後の挑戦と考えおしゃれなカフェを長野山に実現させることで新たな付加価値を設けて、地域内外からの交流人口を増やし、ひいては鹿野全体の活性化に貢献したいとの思いでスタートしました。



## 『山野草のエキ』保存会

<学び感動できる…山野草 350 花の生きた図鑑の森>

代表 福田 清治

故 伊藤芳高(享年 92 才)さんが、17 年の歳月をかけ残された貴重な「山野草 350 花の生きた図鑑の森」を後世に残し、西日本一の子供や大人も学び感動できる森をめざし整備しています。



## 鹿野の風プロジェクト

<雑木による木漏れ日計画とオープンガーデン開催>

代表 福田 清治

鹿野は高齢化や人口減は深刻、10 年後には 2 千人になるとも言われています。

そこで街全体を雑木による木漏れ日計画を進め、さらに来春からは鹿野の素敵な庭を一齐に一般開放する「オープンガーデン」を開催、より鹿野の魅力を高め発信を目指し進めています。



## 鹿野ブランド創出研究会

事務局 国重 文治

鹿野の活性化を目指す住民主導の地域づくりをコンセプトに、『地域資源の発掘・再認識』『イベントの実施』『地域内交流・連携の促進』『商品・サービスの開発』『交流人口の増加』『企業家誘致』を目的として活動している団体です。



## 防長の吉野をつくる会

事務局 尾崎 行雄

平成 6 年に『桜を通じて心のふるさとづくりを金峰から発信したい』という夢で始まった会です。鹿野地域の中でも、消滅の危機が懸念される地域になろうとしています。『未来に残せる里山』を模索しつつ魅力的な地域づくりをしていきます。



## 鹿野おもてなし塾

<鹿野アートフェスティバル実行委員会の活動のひとつ>

代表 岩田 純

2018 年に結成。

鹿野の歴史や自然をテーマに 6 回の講座を行い、のべ 150 人以上の方々が受講されました。今、鹿野は観光地として注目されようとしています。

来春には、第 2 期のおもてなし塾の講座を行います。



## 周南市新規就農グループ Meets

代表 白井 智規

私たち Meets は、若手農業者のグループです。日々成長していく事を目的に、マルシェの出展や勉強会を開催しています。

「Meets を通じていろんな人に出会ったよ」と笑顔で言えるような活動をしていきたいです。

